

(参考)

ITER計画を巡る海外状況

平成14年5月29日

1. 欧州の状況

欧州は、6月4～6日開催のITER政府間協議において、ITERの誘致表明を行う予定。

◎スペインは、欧州委員会に対し、バンデロス候補地として正式提案(4月)

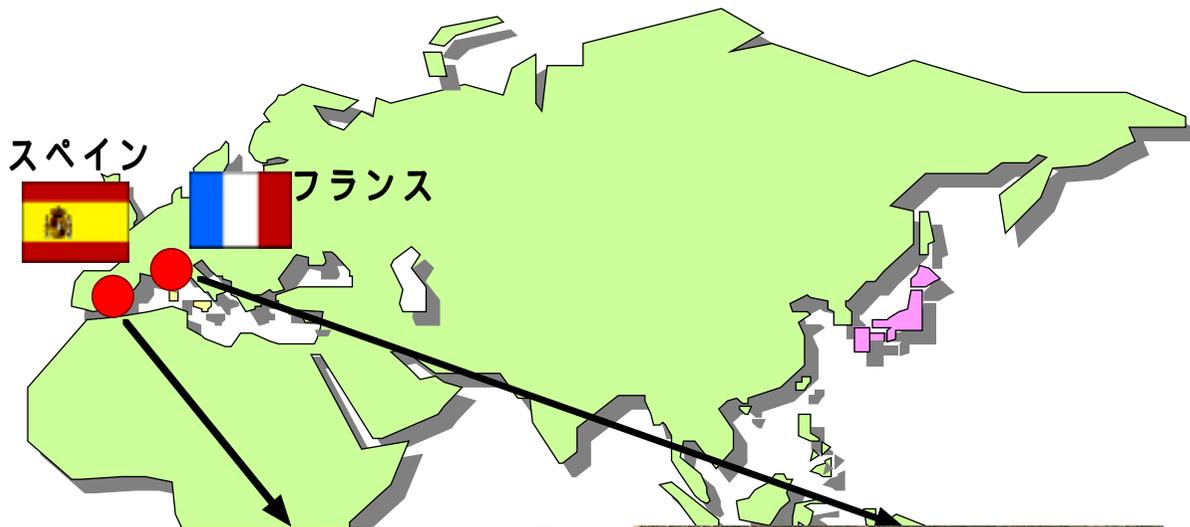
◎フランスは、欧州委員会に対し、カダラッシュ候補地として正式提案(5月)

◎欧州委員会の交渉権拡大(サイト提案および費用分担)について理事会で承認(5月27日)

2. 米国の状況

ブッシュ大統領より、ITER計画への再参加について真剣な検討を行うよう政府に指示したことを、エイブラハム・エネルギー省長官が表明(5月)。

世界のITERサイト候補地



2002年4月
スペイン政府がサイト提案を決定



バンデロス・サイト

- ・既存原子力サイト
- ・サイト内に原発1基(1,000MW)
- ・バルセロナ(人口170万人)から約120km
- ・避暑地として有名な海岸線
- ・生活文化面は優良
- ・港湾、鉄道及び高速道路に隣接

2002年5月
フランス政府がサイト提案を決定



カダラッシュ・サイト

- ・CEA敷地(1,560ha)、600haの未使用地
- ・多くの原子力施設があり、地盤堅固
- ・500~700MWの受電可
- ・冷却水を取り込む河川、貯水池あり
- ・エクサンプロバンス市から、40km
- ・マルセイユ空港から70km



2001年6月
正式サイト提案済



クラリントン・サイト

- ・既存原子力サイト(485ha)、原子力施設立地要件は満足
- ・ITERサイトとして約240haが利用可
- ・サイト内に原発4基(計3400MW)、500MW受電は十分可
- ・サイトはオンタリオ湖畔、冷却水は十分
- ・サイト内の2.5kg/年のトリチウム回収施設からトリチウム調達可能
- ・トロント(人口450万人)から約60km、生活文化面は優良
- ・周辺地域は、誘致を歓迎。